

# 鹿児島市企業内生涯学習セミナー

研 座 演 沙 資 映 他 体 ワ

鹿児島市教育委員会  
鹿児島県鹿児島市教育委員会生涯学習課  
TEL 099-813-0851

実施年月日 実績等	平成16年4月13日(火) 午前10時45分～午後12時15分 参加人数：170人
主催(共催)	主催:鹿児島市教育委員会 共催:JA東部
開催場所	JA東部ホール
対象	JA東部職員、JA東部組合員女性部
人権課題	女性の人権問題、男女共同参画

## 事業の目的

職場内において男女共同参画を実現するために、職員の人権に対する意識を啓発し、高揚させることを目的とする。

地域における生涯学習の拠点である公民館は「よき企業人は、よき家庭人であり、よき地域人である」という理念にもとづいて、企業、団体等と連携しながら、働く人々に多様な学習機会を提供することも一つの役目としている。そのため、開催会場を地域公民館に限定せず、企業等からの希望があれば、会社の研修室やその他の施設等にも担当職員が出向き、講座を開催するようにしている。当セミナーもそうした活動の一環であり、JA東部からの要請で、人権をテーマにした講座を開催した。

こうした講演会や職場内の意見交換、管理職等を対象にした研修会を開催している企業が増えているのは、接遇研修を充実させたり、お茶くみなどの雑用を女性から全員の担当にしたり、女性を補助的な仕事に固定するのではなく、能力に応じた仕事につけるようにするなど、性別役割分業を改善し、女性が性別により差別されることなく、母性を尊重しつつ、充実した職業生活を営めるよう、雇用環境の整備に努めていることの表れである。

## 事業概要

講師に鹿児島国際大学国際文化学部の山田晋教授を迎え、「男女が共に輝く21世紀」をテーマに講話を行った。日本社会における、女性問題、男性問題とは何かに焦点を当て、これまでの歴史的な背景や男女共同参画社会の形成に向けての国、県、市町村レベルの取り組み、そして、JA東部組合をはじめとする企業の取り組みについての説明がなされた。質疑応答の時間も設け、人権問題に関する理解を深めた。

### 講話で触れた主な事項

- 国の取り組み  
国際女性年、世界女性会議、国際女性年世界会議、国連女性の10年 など
- 県の取り組み  
鹿児島女性プラン21、鹿児島県女性行政連絡会、かごしまハーモニープラン、鹿児島県男女共同参画推進条例など
- 市の取り組み  
かごしま市女性プラン、



企業内教育担当者研修会のようす



企業内生涯学習セミナーで配布される啓発資料

男女共同参画センター、男女共同参画都市かごしま宣言、鹿児島市男女共同参画計画 など

## 連携状況

JA東部組合員がセミナー開催案内文書の配布や出席者の取りまとめを行った。

## 特色・工夫した点

JAの組合員といっても、農業以外にも職業をもった女性が多数いる。そんな忙しい就労女性でも出席できるよう、普段、出席率が高いJA総会時を学習の場に設定した。また、男女共同参画社会という難解なテーマに思われがちだが、女性の仕事と決めつけられがちな「お茶くみ」についてなど、講師が身近な事例を取り上げて話したことで、参加者の興味を引き、理解しやすい講話となった。

## 実施結果

### 参加者の反応・事業の反響等

女性の人権問題や男女共同参画社会の形成に向けた取り組み等について、学習する機会が少ない参加者が大部分であったが、講話をとおして、人権尊重の大切さや男女共同参画社会づくりへの取り組みについて学習でき、大変有意義であったとの

感想が聞かれた。

さらに、自分の心の中に潜在的にある差別の心に気づき、日常生活においてできることから変えていきたいという意見も多かった。

## 反省点・今後の課題

人権をはじめとする生涯学習の重要性や必要性については十分認識し、啓発に努力しているが、勤務条件が多様化し、就労女性が増加している中で、企業内の全員に学習の機会を設定することが困難になりつつある現状である。今後この点をどう解決していくかが課題である。

また、本セミナーは、教育委員会が企業の要請にこたえて、講師を派遣して行われるものである。したがって、企業が社員に学びの機会を与えようという姿勢が重要である。企業の研修係や人事担当者等への説明の場である企業内教育担当者研修会において、本セミナーの意義やその成果等について説明することで、企業の生涯学習促進への意欲の向上を図るよう努めていく。



年に1回発行している「企業内生涯学習通信」企業の担当者がセミナー当日の様子を報告するなど企業を主体として発行している